

2023 年 4 月 18 日

インボイス制度に向けて登録事業者番号を収集する BPO サービスを開始

収集業務の負荷を約 90% 削減するサービスとして、すでに 29 社での採用が決定

大日本印刷株式会社（DNP）と、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスを提供する株式会社 DNP コアライズは、2023 年 10 月のインボイス制度（適格請求書等保存方式）施行に向けて、各企業等に代わって取引先の登録事業者番号を収集する「登録事業者番号収集サービス＊1」の提供を 4 月 18 日に開始します。

本サービスは、自社での収集業務負荷を 90% 以上＊2 削減できることが評価され、すでに情報・通信業、住宅不動産業など 29 社で採用されました。

＊1 登録事業者番号収集サービスについて

→ https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/20167660_1567.html

背景

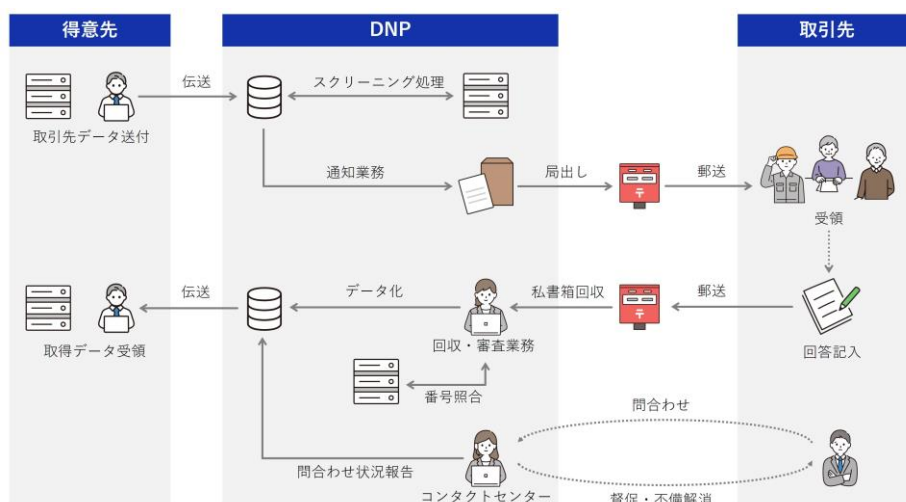
インボイス制度では、取引先に対する支払明細書に、その取引先の登録事業者番号を記載します。そのため、同制度開始までに登録事業者番号の有無や該当する番号を取引先 1 社ごとに確認する必要があり、非常に負荷が高い作業となっていました。

こうした課題の解決に向けて DNP と DNP コアライズは今回、「登録事業者番号収集サービス」の提供を開始します。本サービスの利用によって企業等は、登録事業者番号の収集業務の負荷削減が可能となり、自社の中心となる事業活動に集中できるようになります。

「登録事業者番号収集サービス」の特長

本サービスは、取引先の登録事業者番号収集に関する「スクリーニング」「通知」「回収」「問い合わせ対応」業務の全てを代行するワンストップサービスです。本サービスの利用によって、登録事業者番号収集業務にかかる作業時間を 90% 以上削減することが見込めます。また、各業務の一部のみでも代行することが可能なため、各社の状況に応じた無駄のない業務遂行を支援します。

- 「スクリーニング」業務： 法人取引先の場合は、公示のデータベースと照合して、登録事業者番号を取得します。取引先の企業名や所在地等の表記に統一性などが無い場合でも、DNP が修正して適切な番号を取得します。
- 「通知」業務： 法人取引先の登録事業者番号がデータベースで照合できなかった場合、もしくは取引先が個人事業主の場合は、取引先に直接、番号を確認する通知業務が発生します。この業務に対して、郵送物の設計・文面作成・印刷・封入封緘・不着対応などの作業を代行します。
- 「回収」業務： 返送された郵便物の回収・回答内容のデータ化・正誤チェック、および未回答取引先の洗い出しなどの作業を代行します。回収された情報が正しいかどうか、システムによる自動判定を行い、短納期で本サービス利用企業等に伝送します。
- 「問い合わせ対応」業務： 取引先からのさまざまな問い合わせについて、DNP のコンタクトセンターで対応します。DNP が設計した AI 自動応答システムを併用することで、コストの削減にもつなげます。



今後の展開

DNP と DNP コアライズは、より付加価値の高いワンストップの BPO サービスを強化・拡大し、幅広い業界の企業等の継続的な成長や課題の解決、構造改革の推進を支援します。

*2 2023 年 2 月 7 日に開催した「DNP P&I セミナー インボイス & 電帳法対応ノウハウセミナー ～AI×アウトソーシングで 92%以上の業務時間削減！～」のレポートはこちら

→ https://www.dnp.co.jp/biz/column/detail/20168891_2781.html

※DNP の BPO についてはこちら → https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/1189602_1567.html

※株式会社 DNP コアライズについてはこちら → <https://www.dnp-coarise.co.jp>

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

共に、進む。

お客さまから信頼され、必要とされる企業として、共に成長を続けていきます。
人々のより快適な暮らしに向けて、共により良い未来社会の実現に貢献していきます。



声に応える。
共に進む。